

令和3年度 国立青少年教育振興機構 教育事業

第38回全国青少年相談研究集会【オンライン開催】について

国立青少年教育振興機構では、青少年の健全育成や相談業務に携わる者が一堂に会し、協議等を通じて、指導者としての資質及び専門的な知識・技術を高めるとともに、団体の連携協力の促進を図ることを目的に本研究集会を開催致します。

今年度のテーマは「コロナ禍における新たな青少年支援～学び、寄り添い、育む～」として、基調講演、分科会（「児童虐待」「SNS問題」「発達障害」「子供の貧困」「性被害」）等を通して、コロナ禍の長期化により複雑化・深刻化している青少年を取り巻く事情について、今後の支援の在り方を検討していきます。

YouTube配信期間：令和4年1月24日（月）～31日（月）（当該期間にご視聴が可能です。また、お申込みいただいた方への限定公開となりますので、ご視聴を希望される方は下記お問合せ先へご連絡くださいませ。）

【内容】

（1）基調講演（90分程度）

「見えない子どもの課題とその方策～コロナ禍における子どもへの影響調査、子どもの貧困調査を踏まえて～」
山野 則子 氏（大阪府立大学 学長補佐）

（2）行政説明（各20分程度）

内閣府 政策調整統括官（政策調整担当）付 参事官（青少年企画・支援担当）付
文部科学省 初等中等教育局児童生徒課生徒指導室
厚生労働省 社会・援護局自殺対策推進室

（3）研究講義（各45分程度）

【児童虐待】「なぜ声を上げることは難しいのか～子どものSOSを受け止めるために～」
川瀬 信一 氏（一般社団法人子どもの声からはじめよう 代表理事/内閣官房「こども政策の推進に係る有識者会議」構成員）

【SNS問題】「青少年のSNS利用実態から考えるGIGAスクール時代の課題～モラルとリテラシーとリスク管理能力を育むために～」
尾花 紀子 氏（ネット教育アナリスト/安心ネットづくり促進協議会「普及啓発広報委員会」副委員長）

【発達障害】「『やる気』からみる発達障害」
吉川 徹 氏（愛知県医療療育総合センター中央病院 子どものこころ科（児童精神科）部長）

【子供の貧困】「『貧困の連鎖』から『おせっかいの連鎖』へ」
栗林 知絵子 氏（NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 理事長）

【性被害】「子どもの性被害の実態とその心理的影響を知る」
齋藤 梓 氏（目白大学心理学部心理カウンセリング学科 専任講師/公益社団法人被害者支援都民センター 公認心理師・臨床心理士）

【お問合せ先】

国立青少年教育振興機構 教育事業部 事業課

住所：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1

TEL：03-6407-7718/E-mail：honbu-jigyouka@niye.go.jp